

第76回 日本農業教育学会大会

公開特別講演・公開シンポジウム・総会・研究発表会 プログラム

主催：日本農業教育学会

後援：国立大学法人鹿児島大学，鹿児島県教育委員会，指宿市教育委員会

1. 期 日 2018年 9月 16日（日）～ 9月 17日（月・祝）

2. 会 場 鹿児島大学教育学部（郡元キャンパス）
〒890-0065 鹿児島市郡元1丁目20-6

3. 事務局担当

実行委員長：角 明夫（鹿児島大学農学部）

事務局：浅野陽樹（鹿児島大学教育学部）

〒890-0065 鹿児島市郡元1丁目20-6

TEL & FAX：099-285-7873

E-Mail：asano@edu.kagoshima-u.ac.jp

4. 日程

9月 16日（日）

11：00～12：00	編集委員会	（第1講義棟2階 201講義室）
12：00～13：00	評議員会	（第1講義棟2階 202講義室）
13：00～14：00	公開特別講演	（第1講義棟1階 101講義室）
14：15～17：15	公開シンポジウム	（第1講義棟1階 101講義室）
18：00～20：00	懇親会	（会場：ジェイドガーデンパレス，徒歩15分，送迎バス有り）

9月 17日（月・祝日）

9：30～12：00	研究発表会	（第1講義棟1階 101講義室）
13：00～14：00	総会	（第1講義棟1階 101講義室）
14：00～16：00	研究発表会	（第1講義棟1階 2会場にわかれます） （A会場；101講義室，B会場；102講義室）

※両日とも大学食堂は昼食の営業をしていないため，近隣の飲食店等をご利用ください。

5. 公開特別講演

【テーマ】西郷どんが愛される理由～開拓者としての側面～

【講演者】岩川拓夫氏（仙巖園学芸員，鹿児島国際大学・志學館大学非常勤講師，西郷南洲顕彰館専門委員）

6. 公開シンポジウム

【テーマ】農業教育の可能性を考える

【趣旨】

今から40年あるいはそれ以上前から、「世界人口の急増を背景として、今後、農業の重要性は益々高まっていくであろう」との予測と教えを胸に私たちは歩んできました。ところが意に反して、農業の相対的な地盤沈下は続いています。現在、「大規模化」，「6次産業化」あるいは「スマートな農業」などありとあらゆるキーワードを冠して農業再生に向けた取り組みが進められておりますが、際立った成果があがっているかと言えば必ずしもそうとは思えないのが現状です。当時と較べて技術力や情報量は格段にアップしたにも関わらず・・・。

宮崎安貞は、農業全書（元禄十年）の中に「天万物を生ずる中に、人より貴きハなし。人の貴き故ハ、則天の心をうけ継て、天下の万物をめぐミ、やしなふ心、をのづからそなはれるを以てなり。サレバ人世におゐて、其功業のさきとし、つとむべきハ生養の道なり。」と記しましたが、農業は元来このような高い精神性の涵養と教育効果を期待できる側面を兼ね備えています。

本会は、農業教育・食教育・栽培学習・栽培に関する環境教育・園芸セラピーなど幅広いテーマについて、研究成果や意見を交流する場として設立されましたが、本シンポジウムが農業教育を動植物の飼育・栽培あるいはそれらとのふれあいを基盤とした人間教育の場へと展開できる契機となることを期待しております。

【場所】教育学部第1講義棟1階 101講義室

【開会】

日本農業教育学会長挨拶 土屋 英男（広島国際学院大学） 14:15～14:20

大会実行委員長挨拶 角 明夫（鹿児島大学） 14:20～14:25

【第1部】講演 14:30～16:00

司会：平尾健二（福岡教育大学）

講演者：

1. 柏木辰公（鹿児島県指宿市立今和泉小学校）
指宿地域の小学校における栽培学習
2. 中西良孝氏（鹿児島大学農学部）
農業教育現場への山羊飼育の導入とその可能性
全国的な動きと鹿児島大学における取組

3. 角 明夫氏 (鹿児島大学農学部)

植物の声が聴ける農業教育をめざして ～農業の教育力を活かす～

【第2部】 パネルディスカッション 16:10～17:00

コーディネーター：平尾健二 (福岡教育大学)

パネリスト：柏木辰公, 中西良孝, 角 明夫

7. 参加費について

参加費, 懇親会費は, 当日受付でお支払いください。

〈参加費 (研究発表要旨集代を含む) 〉

一般：3,000円 学生：1,000円

〈懇親会費〉

一般：4,000円 学生：3,000円

8. 交通案内

アクセスマップ：<http://www.kagoshima-u.ac.jp/about/access.html>

鹿児島空港から

(1) 鹿児島空港リムジンバス (2番のりば) ⇒ 鹿児島中央駅

(所要時間約40分, 1,250円, 10～20分間隔運行)

(2) 市電 (鹿児島中央駅市電のりば, 市電2系統 郡元方面) ⇒ 「工学部前」下車

(所要時間約9分, 170円)

(3) 「工学部前」電停 ⇒ 徒歩5分

9. 学内案内図

鹿児島大学郡元キャンパス学内案内図をご覧ください。

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/about/campusmap.html>



研究発表会プログラム (2018年9月17日)

発表時間12分・質疑応答3分

1鈴10分・2鈴12分(発表終了)・3鈴15分(質疑応答終了)

1. 9時30～10時30分 (101講義室)

座長：渡辺慶一(日本大学) 9:30～10:30

1. メキャベツの教材化に関する研究
○藤井道彦, 山口裕馬(静岡大学教育学部)
2. 飲料用ペットボトルを用いたムギ類の栽培方法の検討
○矢動丸琴子¹, 牛崎 景², 島村卓弥², 王 泓檸¹, 王 俏², 三島孔明¹
(千葉大学園芸学研究科¹, 千葉大学園芸学部²)
3. 新潟県内における食用ギクの嗜好に関する研究³
○木村和史, ○井上真生, 川上聡美, 小黒悠道(新潟県立長岡農業高等学校)
4. 地域の特徴を生かした教材(ジャガイモ袋栽培)に関する研究
-中学校技術科「生物育成の技術」における題材としての検討-
○鎌田英一郎(長崎大学教育学部)

2. 10時30分～11時15分 (101講義室)

座長：久保加織(滋賀大学) 10:30～11:15

5. お茶を教材とした農場実習の取り組み
共同利用拠点に対応した実習プログラムの工夫
○西川浩二, 成瀬和子, 稲垣栄洋
(静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター)
6. アイガモの屠畜を通じた命の授業のあり方に関する研究
○後藤栄太, 平尾健二(福岡教育大学)
7. 野菜栽培の市民講座を活用した地域連携の取り組み
○渡辺慶一, 水野真二(日本大学生物資源科学部)

3. 11時15～12時00分 (101講義室)

座長：勝川健三(弘前大学) 11:15～12:00

8. 高等学校農業教育における森林・林業教育の変化

○井上真理子，大石康彦（森林総合研究所多摩森林科学園）

9. 専門高校における森林科学関連科目の教育内容の分析

○宮尾鮎丸¹，東原貴志¹，荒木 祐二²（上越教育大学¹，埼玉大学²）

10. 園芸学における専門用語の理解に関する調査

宮城大学食産業学部学生の事例

○齊藤秀幸¹，菅原正嗣²（宮城大学食産業学群¹，宮城県仙台二華中学校²）

4. 14時00～15時00分

A会場（101講義室）

座長：荒木祐二（埼玉大学）

11. ムギ類に関する体験プログラムの開発の検討

○三島孔明，王泓樟（千葉大学園芸学研究所）

12. 「津軽の藍」を伝える教員免許状更新講習

○勝川健三¹，月岡淳子²（弘前大学教育学部¹，京都薬科大学薬用植物園²）

13. 地域特産品を教育に活用する上での課題

名古屋コーチンの一般消費者に対する試行的アンケート調査をもとに

○今井雅浩（愛知江南短期大学）

14. 農福連携や類似の事例における労働者の自律性に関する一考察

○綱島洋之（大阪市立大学）

B会場（102講義室）

座長：林 久喜（筑波大学）

15. 高大連携授業におけるクラウドサーバーを利用した組織培養実験の導入例 …
73

○神田啓臣¹・永吉武志¹・金澤俊成²・吉田康德¹・今西弘幸¹
（秋田県立大学生物資源科学部¹・岩手大学教育学部²）

16. 生徒の「学ぶ力」を育む学校設定科目の可能性の検討

○三宅義貴（兵庫県立有馬高等学校）

17. 農業高校生による動植物を介在させた園児との交流が与える心理的効果

○菊川裕幸（兵庫県立農業高等学校，京都大学大学院農学研究科）

18. スーパーサイエンスハイスクールに指定された農業高等学校生における授業等への取り組みに対する意識
○荻野 歩, 土屋英男 (京都教育大学)

5. 15時00～16時00分

A会場 (101講義室)

座長：藤井道彦 (静岡大学)

19. 中学校技術科生物育成における有機栽培技術の導入
－ 雑草を用いた土づくり技術の確立 －
○平尾健二¹, 甲斐ふゆみ¹, 吉田俊道²
(福岡教育大学¹, NPO法人大地といのちの会²)
20. 「生物育成の技術」の必修化に伴う大阪府中学校技術科における実習教材活用の現状と課題
○盛岡明峰¹, 土屋英男², 平尾健二³
(京都教育大学¹, 広島国際学院大学², 福岡教育大学³)
21. 中学校技術・家庭科技術分野の「動物の飼育」と「水産生物の栽培」における指導内容の検討
○荒木祐二¹, 加瀬裕也², 山村瑞穂², 阿部千香子²
(埼玉大学¹, 元埼玉大学 (学) ²)
22. 中学校の総合学習の時間で実施される水田学習
○林 久喜 (筑波大学)

B会場 (102講義室)

座長：柳 智博 (香川大学)

23. 滋賀県の小学校における栽培活動状況と管理体制
○山田 礼¹, 久保加織², 高橋幸宏¹, 森 太郎²
(滋賀大学大学院教育学研究科¹, 滋賀大学教育学部²)
24. 滋賀県下の小学校における栽培活動と食育
○高橋幸宏¹, 森 太郎², 山田 礼¹, 久保加織²
(滋賀大学大学院教育学研究科¹, 滋賀大学教育学部²)
25. 授業・行事の繋がりを活かした食育の取り組み
－ 特別支援学校中学部における食育の実践例－
○谷川 毅 (兵庫県立氷上特別支援学校, 兵庫教育大学大学院学校教育研究科)